

東京江東ロータリークラブ

2024～2025年度 テーマ

ロータリーのマジック

RI 会長 ステファニー A. アーチック
地区ガバナー 石川 彌八郎

ROTARY PRIDE

～再発見・新発見～
クラブ会長 大澤 栄一

今日の卓話

次回例会案内

No. **32**

第2938例会
2025年5月20日

東天紅夜間例会

メンバースピーチ
ひとりひとこと

嶋村文雄パストガバナー

「国際奉仕の醍醐味」

E-mail: koto.re@sweet.ocn.ne.jp http://www.koto-rotary.jp

例会報告

5/13 会員数 19 名中 14 名
出席率 73.68%
【訂正出席率】4/15 訂正なし
4/24 訂正出席率 30.00%



会長・幹事報告



- 14 日 (水) 東京福生 Hope ロータリー衛星クラブ認証伝達式 【石川酒造】
- 15 日 (木) 東京上野ロータリークラブ主催『下谷神社大祭』
- 17 日 (土) 青少年交換学生 茶道稽古 【今日庵東京道場】☆エードラさん
- 19 日 (月) 東京城東ロータリークラブ メイキャップ 【レバント東京】☆小野会員
- 20 日 (火) 例会:「東天紅夜間例会」【卓話】メンバー ひとりひとこと
- 21 日 (水) 東京本郷ロータリークラブメイキャップ 「ホテルメトロポリタンエドモンド」☆小野会員
- 23 日 (土) 青少年交換学生 茶道稽古 【今日庵東京道場】☆エードラさん (米山) 学友会代表者セミナー 【ビジョンセンターグランデ東京浜松町】
- 24 日 (土) ローターアクト第56回地区年次大会 【タワーホール船堀】
- 25 日 (日) RYLA 学友会 第5期生報告会 【プラザエフ】☆大澤会長
- 26 日 (月) 東京浅草ロータリークラブメイキャップ 【浅草ビューホテル】 ☆大澤会長・エードラさん
- 27 日 (火) 例会 【卓話】 嶋村文雄パストガバナー ☆東京東江戸川ロータリークラブ在籍 【演題】「国際奉仕の醍醐味」

<委員会報告・その他>

【回覧】: オクトン最新カタログ

【配布物】: 週報 NO.32・地区大会パンフレット・インターシ
ティミーティング報告書・RYLA セミナー報告書

鈴木会員: 東京東 RC70 周年・江北ロータリークラブ 65 周年
祝賀記念例会参加報告・地区立法案制定委員会報告・多摩分
区 IM 報告

小野社会福祉フェスティバル実行委員長: 当日のお手伝いの
件につきまして

大島会員: 協賛金について

大澤会長: エードラのお見送りの件について

次回例会は、5月27日(火)(昼例会)となっております。

※欠席される方は、例会1日前の12時までに、事務局までお知らせください。

ニコニコボックス



東京向島ロータリークラブ・今井達君: メー
キャップよろしく

東京向島ロータリークラブ・小林康徳君: カン
さん、今日は楽しみにしております。

大澤会長: カン君、卓話楽しみにしています!

堀幹事: 今日もよろしくお願いします。

伊藤(三)君: 暑くなって来ました。体調管理
に気を付けて頑張りましょう!

鈴木君: カン君、お話を楽しみにしています。

青木君: 本日もよろしくお願いします。

小嶋君: カン君、卓話楽しみにしています。

小野君: カン君、本日の卓話楽しみにしており
ます。

末次君: カンさん、卓話楽しみにしています。

大島君: カン君、宜しくをお願いします。

大木君: カンさん、卓話お願いします。

伊藤(海)君: カン君、今年も1年宜しくお願
いします。

熊川君: 本日も、よろしくお願いします。

野村君: カン君、本日は楽しみにしております。

合計 62,000 円
累計 1,559,000 円



2025年3月のロータリーレート (1ドル150円)

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

●例会場 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL: 03(5683)5683 ●例会日 / 毎週火曜日 12時30分~13時30分
●事務局 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL: 03(5632)3777 FAX: 03(5632)3737



「2024-25 年度 RYLA セミナー」 姜友顕



今回の RYLA セミナーを通じて、沖縄の近代史や世界平和についての理解を深めることができた。

また、バズセッションや複数回の議論を通じて、新たな気づきや刺激を受け、改めて自分自身を振り返る機会を得た。さらに、日本と韓国、日本と世界を結ぶ懸け橋として活躍したいという自分の夢に対して、その実現に向けた新たな気づきを得ることができた。

沖縄戦について、これまで私が知っていたことは、太平洋戦争最後の激戦地として多くの命が失われたという程度に限られていた。しかし、ひめゆり学徒隊やガマにおける悲惨な歴史を学ぶことで、強い感情を抱いた。韓国にも朝鮮戦争の歴史があり、学徒隊や理念の違いから生じた悲劇的な過去がある。一致した歴史や感情ではないが、似たような過去や歴史教育を受けてきた者として、沖縄の悲しみを少し理解できた。特に印象的だったのは、絶体絶命の中でガマを出ることを決断した移民帰りの住民の事例である。外国での生活経験をもとに、当時の情報統制に捉われず、多

角的な判断を下したことで命を救った。その外国での生活経験に基づく判断力と行動力に、私は大きな刺激を受けた。類似した背景を持つ者として、自分自身が同じ立場だったら勇氣ある行動ができただろうか――

そんな問いが頭をよぎり、深く考えさせられた。A 班のメンバーとの議論は、10 年間の日本生活では得られなかった新たな刺激を受ける機会となった。これまでも様々な成長背景や価値観を持つ人々と出会う機会は多かったが、「平和」を軸に深く話し合う機会はなかった。議論を通じて交換した個々の価値観が反映された多様な意見や視点は、かけがえない貴重な学びとなった。政治、軍隊、社会的雰囲気など、普段は話しにくい話題についても議論を重ねる中で、必ずしも国のスタンスと個人の意見が一致するわけではないことを理解した。互いに深い理解や共感を得ることで、争いを未然に防ぐことができるのではないかと考えた。この経験を通じて、懸け橋となるための道筋が見えてきた。日韓の生活経験を生かし、誰もが気軽に意見を話せる存在として活動することが、懸け橋としての第一歩であると感じた。

この四日間は、感情面でも、学びの面でも非常に濃密な時間だった。そして、その学びや感情が、懸け橋として成長するための原動力になると実感した。沖縄での時間は、自分にとっての「ロータリーのマジック」そのものであった。今後も、米山奨学生として、RYLA 学友として、懸け橋を築くために必要な要素を見出していきたい。